

データベース 演習資料 (補助資料)

九州工業大学 情報工学部
講義担当：尾下真樹

本資料は、情報基盤センターが提供する BYOD 端末向けの仮想環境 (Ubuntu 環境) 以外の環境でデータベース演習・課題を行いたい人のための、補助説明資料である。これらの推奨環境以外の環境で演習・課題を行わない場合は、本資料を参照する必要はない。

本資料では、各環境において、下記の操作を行うための方法について説明する。

- PostgreSQL サーバに接続してデータベース操作を行う。
- ファイルサーバに接続してファイルの送受信を行う。

本資料は、説明を参考に自分で作業が行える人向けのものである。資料を読んでもどうしても良いか分らない、あるいは、やってみたがうまくいかない、という人は、推奨環境から演習・課題を行うこと。本資料に書かれている内容以上の詳細や、問題が発生したときの解決方法についての質問には、対応しない。

1. 各自が所有する端末 (BYOD 端末) の Windows 環境での演習

仮想環境 (Ubuntu) を使わない Windows 環境からも、PostgreSQL クライアントや SCP ファイル転送ソフトウェアをインストールすることで、演習を行うことができる。

- PostgreSQL ダウンロード

<https://www.postgresql.org/download/>

各自の端末の OS に応じたバージョンをダウンロード・インストールする。

サーバ環境のインストールは不要なので、クライアント環境のみをインストールすれば良い。

- WinSCP ダウンロード

<http://winscp.net/jp/>

Windows 以外の OS で演習を行う場合は、sftp などの別の SCP ファイル転送ソフトウェアを利用する。

2. 各自が所有する端末 (BYOD 端末) の Mac 環境での演習

Mac 環境でも、PostgreSQL クライアントや SCP ファイル転送を利用することができる。

PostgreSQL クライアントのダウンロード方法やネットワーク環境は、上記の Windows 環境の説明と同様である。